

メキシコ政治情勢（２０２６年５月）

〔概要〕

【内政】

- １日、ベルデゲ農業大臣が辞職。後任にロペス前福祉省次官が就任。３日、MORENAは新党首としてモンティエル前福祉大臣を指名
- ４日、エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等にかかる世論調査結果を発表。シェインバウム大統領の支持率は６８％。
- １８日、シェインバウム大統領は、早朝記者会見において、司法制度改革に係る憲法改正案を提出すると発表。６月１日、同憲法改正は、上下院の賛成多数及び２５州の州議会で可決され成立した。
- ２５日、ロペス・オブラドール前大統領の息子であるロペス・ベルトラン氏が与党MORENAの組織委員長を辞任。
- ３１日、シェインバウム大統領は、大統領選勝利から２周年にあたり革命記念塔で演説を行った。

【墨米外交】

- ４日、米はテロ対策戦略を発表。同戦略では、メキシコのカルテルが処罰されることなく活動し、米国にとっての脅威となっている旨明記。
- １５日、治安閣僚会議は、麻薬密輸企図等の疑いで米国からの訴追対象とされているうちの一人であるメリダ・サンチェス元シナロア州治安長官が米国に入学し、アリゾナ州において現地当局に拘束された旨発表。また、同じく訴追対象であるディアス・ベガ同州元行政財務長官がニューヨークの司法当局に出頭。）１８日、大蔵公債省の下部組織である金融情報局（UIF）は、同じく訴追対象者であるロチャ・シナロア州知事（休職中）他の銀行口座を凍結した旨発表。
- ２１日、シェインバウム大統領は、メキシコを訪問したマークウェイン・マリン米国土安全保障省長官と会談した。

【その他外交】

- ２日、エブラル経済大臣は、メキシコを訪問した呂翰九（ヨ・ハング）韓国通商交渉本部長と会談した。
- １０日、シェインバウム大統領は、早朝記者会見で、キューバへの人道支援物資の輸送は継続しているとし、同１０日に新たな支援物資の輸送船がメキシコを出発する旨明らかにした。
- １４日、シェインバウム大統領は、李在明（イ・ジェミョン）大統領と電話会談を実施。
- ２２日、メキシコと欧州連合はメキシコシティで首脳会議を開催し、「近代化グローバル協定」及び同協定が批准されるまでの間の暫定措置を想定した「暫定通商協定」に署名した。

[本文]

【内政】

1 閣僚の交代

- (1) 1日、ベルデゲ農業大臣が辞職。後任にロペス前福祉省次官が就任。
- (2) 3日、MORENAは新党首としてモンティエル前福祉大臣を指名した。

2 大統領支持率等世論調査結果

4日、エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等にかかる世論調査結果を発表。シェインバウム大統領の支持率は68%。概要は以下のとおり。

- (1) シェインバウム大統領の取組を支持するか。

- ア 支持する : 68% (前回(3月、以下同じ) 70%)
- イ 支持しない : 32% (前回29%)
- ウ 分からない : 0% (前回 1%)

- (2) シェインバウム政府のトランプ米大統領との関係構築についての評価如何。

- ア とても良い、又は良い : 37% (前回(3月、以下同じ) 32%)
- イ とても悪い、又は悪い : 47% (前回55%)

- (3) 墨米関係についての評価如何。

- ア とても良い、又は良い : 43% (前回(3月、以下同じ) 31%)
- イ とても悪い、又は悪い : 39% (前回51%)

- (4) シェインバウム政府が取り組んでいるUSMCAの交渉についての評価如何。

- ア とても良い、又は良い : 52%
- イ とても悪い、又は悪い : 34%
- ウ 良くも悪くもない : 9%
- エ 無回答 : 6%

- (5) シェインバウム大統領のスペインへの外遊についての評価如何。

- ア とても良い、又は良い : 55%
- イ とても悪い、又は悪い : 24%
- ウ 良くも悪くもない : 11%
- エ 無回答 : 10%

- (6) メキシコ湾における重油流出に関し、以下をどのように考えるか。

ア 重油流出(当館注:文字どおりであると、重油流出自体を好評価する層が少なくなく、不自然であるところ、重油流出への対応の評価を問うた設問ではないかと思料される)。

- (ア) とても良い、又は良い : 14%
- (イ) とても悪い、又は悪い : 72%
- (ウ) 良くも悪くもない : 9%
- (エ) 無回答 : 5%

イ 石油公社（P E M E X）の担当者が重油流出を公表していなかったこと。

（ア）とても良い、又は良い： 1 2 %

（イ）とても悪い、又は悪い： 7 7 %

（ウ）良くも悪くもない : 7 %

（エ）無回答 : 4 %

（7）国内の主要な問題は何と考えるか。

ア 治安悪化 : 5 1 %（前回（3月、以下同じ） 7 9 %）

イ 経済及び失業 : 1 6 %（前回 1 0 %）

ウ 汚職 : 2 2 %（前回 5 %）

（8）各分野におけるシェインバウム政権の取組を如何に評価するか。

ア 経済

（ア）とても良い、又は良い： 4 8 %（前回（3月、以下同じ） 5 3 %）

（イ）とても悪い、又は悪い： 3 9 %（前回 4 2 %）

イ 汚職

（ア）とても良い、又は良い： 3 1 %（前回 1 9 %）

（イ）とても悪い、又は悪い： 5 9 %（前回 7 9 %）

ウ 治安

（ア）とても良い、又は良い： 5 6 %（前回 5 3 %）

（イ）とても悪い、又は悪い： 3 2 %（前回 4 2 %）

エ 組織犯罪

（ア）とても良い、又は良い： 2 7 %（前回 1 9 %）

（イ）とても悪い、又は悪い： 6 2 %（前回 7 7 %）

オ 社会保障

（ア）とても良い、又は良い： 6 7 %（前回 7 0 %）

（イ）とても悪い、又は悪い： 2 4 %（前回 2 5 %）

4 司法制度改革に係る憲法改正

18日、シェインバウム大統領は、早朝記者会見において、司法制度改革に係る憲法改正案を提出すると発表。6月1日、同憲法改正は、上下院の賛成多数及び25州の州議会で可決され成立した。改正により、次回の裁判官選挙実施日が2027年から2028年6月に変更され、大統領信任投票と同日実施されることになった。また、選挙立候補者の憲法上および法律上の要件の遵守を確認する責任を負い、評価、選考及び試験に関する基準などを制定する「調整委員会」が新たに設置された。

5 MORENA幹部の交代

25日、ロペス・オブラドール前大統領の息子であるロペス・ベルトラン氏が与党MORENAの組織委員長を辞任。

6 大統領選勝利2周年の演説

31日、シェインバウム大統領は、大統領選勝利から2周年にあたり革命記念塔で演説を行った。演説では、2年間の成果に言及。いわゆる「第四次変革」の成果をあげつつ、経済指標の良好さに加え、福祉政策やインフラ整備、水計画などの順調な進捗をアピール。PRIやPANを新自由主義として改めて批判。最後に、ロチャ・モヤ・シナロア州知事及び同関係者に対する米国の訴追を米国による「干渉」と非難。身柄引き渡し目的の逮捕を米司法省が求めたことについて批判し、メキシコ政府は違法行為に関与した者を保護していないと強調しつつ、捜査はメキシコの機関が行うべきであると主張。米国の極右勢力が2026年の選挙に向けて自らの立場を固めるためにメキシコを利用しているのか、あるいは2027年のメキシコの選挙に影響を与えようとしているのか、「メキシコは誰のピニャータでもない（選挙利用されない）」と述べた。また、メキシコ政府の許可を得ずにメキシコ国内で活動していたCIA工作員の存在によって生じた緊張についても改めて言及。メキシコを訪れる者は、同国の主権を尊重し、法律に従って身分を証明し、メキシコの規則に従わなければならないと指摘した。

【墨米外交】

1 米テロ対策戦略の発表

4日、米はテロ対策戦略を発表。同戦略では、メキシコのカルテルが処罰されることなく活動し、米国にとっての脅威となっている旨明記。また、トランプ米大統領は5月6日、メキシコ等他の国が十分に麻薬対策を実施しない場合、米国が行動すると発言。

2 米当局によるシナロア州関係者の拘束等

(1) 15日、治安閣僚会議は、麻薬密輸企図等の疑いで米国からの訴追対象とされているうちの一人であるメリダ・サンチェス元シナロア州治安長官が米国に入学し、アリゾナ州において当局に拘束された旨発表。また、同じく訴追対象であるディアス・ベガ同州元行政財務長官がニューヨークの司法当局に出頭した。

(2) 18日、大蔵公債省の下部組織である金融情報局(UIF)は、同じく訴追対象者であるロチャ・シナロア州知事(休職中)他の銀行口座を凍結した旨発表した。なお、UIFは、これらの措置が最終的な決定を構成するものではなく、いかなる責任の認定を意味するものでもなく、行政的な予防措置であると述べた。

3 マリン米国土安全保障省長官のメキシコ訪問

21日、シェインバウム大統領は、メキシコを訪問したマークウェイン・マリノ米国土安全保障省長官と会談。メキシコ治安閣僚会議によれば、右会談の中で両代表団は、メキシコと米国の協力が主権と領土保全への無制限の尊重、相互信頼、共有かつ差別化された責任、そして従属関係のない調整という4つの原則に基づいていることを改めて確認、昨年9月に合意された「国境安全保障・法執行協力プログラム」の枠組みにおける安全保障分野の二国間協力の進捗状況についても議論したとしている。シェインバウム大統領は、自身のSNSで、両国の尊重のもとに協働していくことで一致したと述べた。

【その他外交】

1 韓国通商交渉本部長のメキシコ訪問

2日、エブラル経済大臣は、メキシコを訪問した呂翰九（ヨ・ハング）韓国通商交渉本部長と会談した。また、14日、シェインバウム大統領は、李在明（イ・ジェミョン）大統領と電話会談を実施。シェインバウム大統領のX投稿によると、同大統領は、韓国の音楽グループBTSの訪問に感謝するとともに、世界情勢と両国の関係強化について協議し、メキシコ訪問の招待を伝達した。韓国大統領のX投稿によると、同大統領は経済、文化、エネルギーをはじめとする様々な分野で両国の協力を強化していくことでシェインバウム大統領と合意し、こうした協力の成果が両国民に実質的な恩恵をもたらすよう、韓国・メキシコFTA交渉の早期再開の必要性を強調した。

2 キューバへの人道支援

10日、シェインバウム大統領は、早朝記者会見で、キューバへの人道支援物資の輸送は継続しているとし、同10日に新たな支援物資の輸送船がメキシコを出発する旨明らかにした。一方、石油の供給に関しては、キューバはロシアから供給を受けているため、メキシコとしては他の面で支援すると発言。

3 墨韓首脳電話会談

14日、シェインバウム大統領は、李在明（イ・ジェミョン）大統領と電話会談を実施。メキシコ側プレスリリースによると、韓国の音楽グループBTSの訪問に感謝するとともに、経済関係強化やグローバル課題につき意見交換。また、本年中にメキシコを訪問するよう李大統領を招待し、快諾した由。李大統領のX投稿では、韓国・メキシコFTA交渉の早期再開の必要性も強調。

4 メキシコEU近代化グローバル協定他の署名

22日、メキシコと欧州連合はメキシコシティで首脳会議を開催し、「近代化グローバル協定」及び同協定が批准されるまでの間の暫定措置を想定した「暫定通商協定」に署名した。両者は多国間主義・国際法・国連憲章へのコミットメントを再確認し、ウクライナや中東を

含む地政学的緊張に懸念を表明しつつ平和的解決を支持した。グリーン・デジタル・エネルギー移行・保健・循環型経済など幅広い分野での協力強化を確認し、グローバル・ゲートウェイを通じた投資促進も推進する。安全保障・移民・組織犯罪対策に関するハイレベル対話の新設や、人権・ジェンダー平等・気候変動対応など共通課題への協力深化を約束。両者は2年ごとの首脳会議開催を継続し、政治・経済・社会・環境の多次元にわたる戦略的パートナーシップのさらなる発展にコミットした。